

平成28年度施設管理に対する評価シート

◎基本情報

管理施設

①施設名	大阪市立クラフトパーク
②指定管理者名	一般財団法人大阪教育文化振興財団・イオンディライト株式会社共同事業体
③評価対象期間	平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日
④指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日
⑤所管課・担当	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習担当（電話：06－6539－3346）

管理運営業務等の概要

①業務概要	クラフト（手作り工芸）の総合施設である「クラフトパーク」における施設の維持管理と、陶芸等の工房を活用した創作教室・体験教室等の事業や、クラフト関連の情報提供等の各種事業の運営。
②利用状況の概要	施設利用者数52,264人（別途その他入館者15,744人有）
③施設の設置目的・目標（成果指標）	新たな基礎自治体が所管・運営する施設への移行に向け、収支均衡を図っていく。
④年度目標	効果的な情報発信を実施し、さらなる利用者の向上に努め、収支改善を図る。

◎管理運営の実施状況

1 施設の設置目的の達成及びサービスの向上

①施設の管理運営状況（管理運営方針・手法に沿った施設の維持管理の状況、平等利用の確保、職員の体制、危機管理・安全管理業務等の実施状況）	設備維持管理の状況、職員の体制、危機管理・安全管理など、施設の管理運営状況は仕様のレベルを十分に満たしている。
②事業計画の実施状況（計画に沿った事業実施、サービスの質、利用促進のための取組みと効果、利用者満足度の把握・反映状況、自主事業等の実施状況）	・地域団体や地域商店街などが実施する「古代市」への参加、老人介護施設や区民まつり、区民センターや大阪駅前再開発エリア内の複合施設への出前体験講座等、さまざまな団体・企業と連携した企画を実施した。
③施設の有効利用（他施設との連携状況、地域との連携状況、市民・NPOとの協働状況等）	・大阪伝統工芸品産業振興協議会主催事業で、イオンモール高見店において出張体験教室を実施した。 ・「クラフトパークフェスタ2016」を実施するにあたり、運営に協力するサポーターを受講生から募集し、137名がクラフトパークで学んだ工芸の技法をフィードバックする機会を提供した。 ・大阪市立平野図書館と共催で「ミニ絵本展」を、クラフトパーク展示室で実施した。 ・大阪市平野消防署と共催で「防火・防災図画展」を4日間実施した。

2 市費の縮減効果（収支状況）

① 収入・支出状況	収入 180,283,918円 (利用料金147,150,318円、自主事業収入33,133,600円、管理代行料0円) 支出 177,559,578円
②市費縮減に係る取組み状況	市政改革プランの実施計画に沿って、平成26年度からの2年以内で収支均衡を図るため、収入においては料金改定を行い、創作教室の基礎コースを27,000円、本科コースは33,000円、専科コースは39,000円と、それぞれ3,000円の値上を実施した。支出においては、開館時間を変更（夜間閉館）し、高額な光熱水費が必要な吹きガラス教室を休止するなど、市費歳出の大幅な縮減を図った。 <平成25年度>（利用料金制）管理代行料 74,977千円 <平成26年度>（利用料金制）管理代行料 14,771千円 <平成27年度>（利用料金制）管理代行料 0千円 <平成28年度>（利用料金制）管理代行料 0千円

3 社会的責任・市の施策との整合等

環境への配慮、就職困難者の雇用への取組み、個人情報保護に関する取組み等の実施状況	・個人情報保護規定を策定し、適切に取り扱っている。
--	---------------------------

4 その他（点検等における要改善項目の対応状況、その他特筆すべき事項等）

①評価項目概要	なし
②上記についての成果や望まれる対応等	なし

◎評価

1 所管所属による1次評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

①施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	平成29年3月に実施した受講者アンケートにおいて、授業の内容及び職員や指導員の対応について95%以上の方から「満足」との回答が得られており、非常に良好なサービスが提供されていると評価しうる。	A
②市費の縮減効果に対する評価	平成27年度から管理代行料0千円で収支均衡を図っており、平成28年度の収支は黒字となった。	B
③社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	個人情報の保護など、社会的責任・市の施策と合致している。	B
④総合評価	安定的な利用者サービス、市費の縮減が計画どおり達成されている。	B

2 外部専門家等の意見

- ・対応についての満足度は高いが、隠れた不満がないか心配である。
- ・ツイッターやフェイスブックでの情報発信が弱いと思う。
- ・子育て世代の年齢層に対しての伝達度が低いと思われる。その年齢層の利用者がツイッター等で情報発信すれば、同年齢層の利用者が増えるなど、好ましい連鎖的な流れが生じるのではないか。
- ・受講生が作成した作品を撮影して、インスタグラムに投稿してもらい、その際に共通のハッシュタグを決めて、それをアピールすれば、受講生の多くの作品がいろんな人に閲覧してもらえるのではないか。
- ・また受講生が作品の画像を投稿する時に、きれいに作品が撮れる設備がクラフトパーク内にあれば、より一層その画像を発信してくれると思う。
- ・中国人等の海外利用者が多い昨今、作品を作って、持ち帰れるという海外旅行者向けの企画を検討してはどうか。
- ・対応についての満足度は高いが、隠れた不満がないか心配である。
- ・SNSを通じて、緩やかに利用者の輪が広がっていくのではないか。その輪が大きいほどより多くの方々に伝わる度が高まることに期待したい。

3 所管所属最終評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

①施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	平成29年3月に実施した受講者アンケートにおいて、授業の内容及び職員や指導員の対応について95%以上の方から「満足」との回答が得られており、非常に良好なサービスが提供されていると評価しうる。	A
③ 市費の縮減効果に対する評価	平成27年度から管理代行料0千円で収支均衡を図っており、平成28年度の収支は黒字となった。	B
③社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	個人情報の保護など、公の施設としてその趣旨に沿って社会的責任・市の施策と合致している。	B
④ 総合評価	安定的な利用者のサービス、市費の縮減が計画どおり達成されており、おおむね事業計画どおりの効果が得られている。 今後は新規利用者の確保に向けたさらなる情報発信に努め、効果的な施設運営を担うことが望まれる。	B

評価の基準

- S…事業計画又は本市の定める水準の想定を大幅に上回る効果が得られた
- A…事業計画又は本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた
- B…おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られた
- C…事業計画又は本市の定める水準で想定した効果が得られていない

※ 施設の管理運営に関して過失による事故や協定違反等による改善指示、指名停止措置（平成25年4月から「参加停止措置」）などのペナルティを受けた場合は、当該項目と総合評価については原則としてCとすること